

第34回マリンボールカップ女子 Cゾーン決勝 8月4日(日)

横須賀富士見クラブ (横須賀) 26 vs 41 南部ミニバスケットボール連盟選抜チーム (横浜南部)

- 1 Q 南部選抜オールコートマンツーマン、富士見ハーフのゾーンでスタート。  
開始1分過ぎ、富士見クラブ#6のゴール下シュートでバスカン、フリースローも決め  
3得点。#5のジャンプシュートも決まりリズムをつかむ。  
南部選抜は、シュートを打つがなかなか得点につながらない。2分過ぎ、#10のドリブル  
から#6へのパスで速攻シュートが決まる。  
富士見クラブは、#4、#5、#6の160cm超の高さのあるDEFでゴール下  
を固め南部選抜の攻撃を苦しめる。  
南部選抜は、#10のスピードのあるドリブルシュートで加点。続き、#4のリバ  
ウンドシュートで応戦。11対7の富士見クラブリードで1Q終了。
- 2 Q お互いディフェンスは変わらず。  
南部選抜は、パス回しでゾーン攻略するが、インサイドにパスが入らない。対する富士見クラブも  
シュートを打つが得点にならず両者ともリズムをつかめない。  
2分過ぎ、南部選抜#18のリバウンドから走り出した#17にパスがつながりシュートが決まる。  
富士見のゾーンを中→外とパスも回り出す。ハイポストからリターンパスで#5がドライブシュート  
を決める。更にジャンプシュートを決め、南部選抜が流れをつかむ。  
富士見も反撃にかかり、残り2秒で富士見#9はファウルを誘い、フリースローをきっちり2本決める。  
15対15の同点で2Q終了。
- 3 Q 立ち上がり南部選抜#15のゴール下シュート、#11のドライブシュートで加点し流れを引き  
寄せる。富士見のGをマークした南部選抜#14の好守で攻めのリズムを掴ませなかったのも、  
南部選抜の大きな支えとなった。  
何とかリズムをつかみたい富士見は、ドライブシュートやジャンプシュートを打つが、得点にな  
らない。インサイドにパスを入れたいが、170cm超の#18阻まれ攻めに苦しんだ。2分過ぎ、  
富士見クラブ#4はゴール下シュートでファウルを誘いフリースローを2本決める。続いて得点  
したいが、南部選抜の厳しい守りにシュートが打てない。  
南部選抜は、パスカットからの連続シュートで一気に差を広げた。18対31と南部選抜リード  
で3Q終了。
- 4 Q 富士見はマンツーマンに切り替え、4Qスタート。南部選抜は変わらずマンツーマン。  
攻撃のリズムをつかんだ南部選抜は加点し、残り2分を切ってオールメンバーチェンジ。  
点差を縮めたい富士見も#6、#4がドライブシュートをきっちり決める。  
最後まで、諦めず攻めの手を緩めなかった富士見クラブだがタイムアップ。  
26対41で南部選抜の勝利。